

ルアーフィッシングはじめました

弁護士 北村 幸裕



この度、ソルトルアーフィッシング、つまり海でのルアー釣りを始めることにしました。

もともと、中学生の頃にブラックバスのルアーフィッシングにはまり、当時、クラブがないテスト期間中とかの休日に、少しの時間を見つけては、JRの始発に乗って琵琶湖や桂川に行ったりしていました。

中学生の頃ですので、自由に使えるお金は少ないです。同級生でもバスフィッシングにはまっている人が多かったのですが、同級生同士で、使わなくなった道具を安く譲り合う仕組みが出来ていて、僕も中古品を譲り受けて道具を一式揃えることができました。

余談ですが、友人同士の売買では、その人の性格が非常によく現れまして、欲かいて儲けようとして高値を付けて信頼をなくしたり、贈与した結果、ええやっちゃと信頼を勝ち取ったりと、その時のやりとりを機に、仲良くなったり仲が悪くなったりといった友人関係の再編が行われてもいました。

とにかく道具を揃えて、できるだけ多く釣りには行ったものの、残念ながらあまり上達しないまま高校生になってしまい、釣りに行く時間がなくなりました。高校進学当初は、大学入学が決まったら釣りに行こうと思っていたのですが、いざ大学生になったら、他に面白いことをいっぱい覚えてしまいましたので、最近に至るまで、釣りのことなどすっかり忘れていたのです。

ところが、先日、うちの子どもと一緒に釣りに行く機会がありました。子どもは釣れないと面白くないだろうと思い、琵琶湖でミミズを使ったブラックバスやブルージェル釣りをしました。このときの僕の役割は、子どもの針にミミズをつけることと、子どもたちが釣り上げた魚を針から外すことだけでした。ひたすらつけては外すという単純作業を繰り返して、手が生臭くってたまらなくなりました。

ミミズ付けと魚外しにうんざりしてきた結果、こんな苦行はもう嫌だ、僕が釣り上げたいのだと強く思ったのです。

そのまま思いは暴走します。今は、中学生の頃と違って車の免許もあるし琵琶湖じゃなくて海にいけるやん、海で釣った魚をおいしい日本酒と一緒に食べたら最高やん、と思ったのでもう止まりません。ブラックバスでは

なくて海の魚を釣りたいと釣りたいと仕方なくなってしまうのです。

ちなみに、昨年、体調不良で倒れ、人生初の入院を経験したことから、飲んでも飲んでも健康な趣味を持つべきだと反省したことも消極的な動機になっています。

いざ始めるにあたってちょっと調べてみると、ソルトルアーフィッシングと一口でまとめていますが、対象となる魚が色々あることがわかりました。どれから始めようかとずいぶんと悩みました。

鱸（すずき）？シーバスというくらいだからきっとブラックバス釣りに近くて、バス釣り経験者の僕には取っつきやすいよな、鱸って食べられるしいいかも、あつ、でも釣った場所によっては臭くてとても食べれないみたいやな、臭いのは嫌やな、てことで鱸は却下。

イカどうやろ？寄生虫とか心配やけど、釣れたて食べたらめっちゃおいしそうやで、でも、釣りあげはった写真見てみ、イカえらいグロイやん、これアカンやつや、てことでイカも却下。

アジとかメバルは？最近人気みたいやで、初心者向きみたいって書いてあるわ、そうそう、アジもメバルもいいので、小振りやから沢山釣れるんとちゃう、これや！ということで、まずはアジとメバルから始めてみることにしたのです。ちなみに、アジング、メバリングというらしいです。

そうして道具を揃え始めると、これが楽しいこと楽しいこと。実際に釣りに行かなくても、道具をいじってるだけでいいのではなからうか、というくらい楽しいのです。

そして、いよいよ5月中頃には、アジング・メバリングにデビューの予定です（執筆時基準）。

この号が発刊される頃にはきっと時間を見つけては釣り場に通って、アジを釣るために必死でがんばっているものの、釣れへんなあって嘆いていると思います。

お父さん、もうアジばかりいらんで、食べ飽きたわ、と子どもに言わせるのが今の目標です。

ルアーフィッシングがお好きな方はぜひ声をかけてください。そして、僕に上手く釣るコツを教えてくださいと幸いです。